

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 26 日 (2020.11.26)

【公表番号】特表 2020-512789 (P2020-512789A)

【公表日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-016

【出願番号】特願 2019-553961 (P2019-553961)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/44 (2011.01)

G 1 0 K 15/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 21/44

G 1 0 K 15/02

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 16 日 (2020.10.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

主要な音声コンテンツを受信することと、

少なくとも 1 つのハードウェアプロセッサによって、少なくとも 1 つの基準音声コンテンツとの前記主要な音声コンテンツの比較に基づいて、前記少なくとも 1 つの基準音声コンテンツが予め定められた類似閾値を満たすと判定することと、

前記少なくとも 1 つの基準音声コンテンツの各々の 1 つに対し、動画コンテンツが、前記少なくとも 1 つの基準音声コンテンツの前記 1 つと関連して記憶されており、かつ前記主要な音声コンテンツと関連して記憶されていないことに基づいて、前記動画コンテンツを識別することと、

(i) 前記少なくとも 1 つの基準音声コンテンツのデータを前記主要な音声コンテンツのデータと同期し、(i i) 前記主要な音声コンテンツの前記データとの前記少なくとも 1 つの基準音声コンテンツの前記データの同期に基づいて、識別された前記動画コンテンツを前記主要な音声コンテンツと同期する、ことによって、デバイス上での前記主要な音声コンテンツの提示と同時に、前記識別された動画コンテンツを前記デバイス上に表示させることと、

を含む、コンピュータにより実行される方法。

【請求項 2】

前記主要な音声コンテンツは、音楽を含む、請求項 1 に記載のコンピュータにより実行される方法。

【請求項 3】

前記比較は、前記少なくとも 1 つの基準音声コンテンツのフィンガープリントデータとの前記主要な音声コンテンツのフィンガープリントデータの比較を含む、請求項 1 に記載のコンピュータにより実行される方法。

【請求項 4】

前記動画コンテンツの識別は更に、前記デバイスと関連付けられたユーザのプロファイルに基づいている、請求項 1 に記載のコンピュータにより実行される方法。

【請求項 5】

前記主要な音声コンテンツの前記データとの前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの前記データの同期は、前記主要な音声コンテンツのフィンガープリントデータとの前記少なくとも1つの基準音声コンテンツのフィンガープリントデータの比較に基づいている、請求項1に記載のコンピュータにより実行される方法。

【請求項6】

前記少なくとも1つの基準音声コンテンツは、少なくとも2つの基準音声コンテンツを含み、前記少なくとも2つの基準音声コンテンツの各々の1つは、異なる動画コンテンツと関連して記憶され、識別された前記動画コンテンツは、前記異なる動画コンテンツの各々の一部を含む、請求項1に記載のコンピュータにより実行される方法。

【請求項7】

少なくとも1つのプロセッサと、

実行可能命令を記憶した非一時的コンピュータ可読媒体と、を含み、前記実行可能命令は、実行されるとき、前記少なくとも1つのプロセッサに、

主要な音声コンテンツを受信することと、

少なくとも1つの基準音声コンテンツとの前記主要な音声コンテンツの比較に基づいて、前記少なくとも1つの基準音声コンテンツが予め定められた類似閾値を満たすと判定することと、

前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの各々の1つに対し、動画コンテンツが、前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの前記1つと関連して記憶されており、かつ前記主要な音声コンテンツと関連して記憶されていないことに基づいて、前記動画コンテンツを識別することと、

(i) 前記少なくとも1つの基準音声コンテンツのデータを前記主要な音声コンテンツのデータと同期し、(ii) 前記主要な音声コンテンツの前記データとの前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの前記データの同期に基づいて、識別された前記動画コンテンツを前記主要な音声コンテンツと同期する、ことによって、デバイス上での前記主要な音声コンテンツの提示と同時に、識別された前記動画コンテンツを前記デバイス上で表示させることと、

を含む動作を実行させる、システム。

【請求項8】

前記主要な音声コンテンツは、音楽を含む、請求項7に記載のシステム。

【請求項9】

前記比較は、前記少なくとも1つの基準音声コンテンツのフィンガープリントデータとの前記主要な音声コンテンツのフィンガープリントデータの比較を含む、請求項7に記載のシステム。

【請求項10】

前記動画コンテンツの識別は更に、前記デバイスと関連付けられたユーザのプロファイルに基づいている、請求項7に記載のシステム。

【請求項11】

前記主要な音声コンテンツの前記データとの前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの前記データの同期は、前記主要な音声コンテンツのフィンガープリントデータとの前記少なくとも1つの基準音声コンテンツのフィンガープリントデータの比較に基づいている、請求項7に記載のシステム。

【請求項12】

前記少なくとも1つの基準音声コンテンツは、少なくとも2つの基準音声コンテンツを含み、前記少なくとも2つの基準音声コンテンツの各々の1つは、異なる動画コンテンツと関連して記憶され、識別された前記動画コンテンツは、前記異なる動画コンテンツの各々の一部を含む、請求項7に記載のシステム。

【請求項13】

命令のセットを有形的に具体化した非一時的マシン可読記憶媒体であって、前記命令のセットは、少なくとも1つのプロセッサによって実行されるとき、前記少なくとも1つの

プロセッサに、

主要な音声コンテンツを受信することと、

少なくとも1つのハードウェアプロセッサによって、少なくとも1つの基準音声コンテンツとの前記主要な音声コンテンツの比較に基づいて、前記少なくとも1つの基準音声コンテンツが予め定められた類似閾値を満たすと判定することと、

前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの各々の1つに対し、動画コンテンツが、前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの前記1つと関連して記憶されており、かつ前記主要な音声コンテンツと関連して記憶されていないことに基づいて、前記動画コンテンツを識別することと、

(i) 前記少なくとも1つの基準音声コンテンツのデータを前記主要な音声コンテンツのデータと同期し、(ii) 前記主要な音声コンテンツの前記データとの前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの前記データの同期に基づいて、識別された前記動画コンテンツを前記主要な音声コンテンツと同期する、ことによって、デバイス上での前記主要な音声コンテンツの提示と同時に、識別された前記動画コンテンツを前記デバイス上で表示させることと、

を含む動作を実行させる、非一時的マシン可読記憶媒体。

【請求項14】

前記比較は、前記少なくとも1つの基準音声コンテンツのフィンガープリントデータとの前記主要な音声コンテンツのフィンガープリントデータの比較を含む、請求項13に記載の非一時的マシン可読記憶媒体。

【請求項15】

前記動画コンテンツの識別は更に、前記デバイスと関連付けられたユーザのプロファイルに基づいている、請求項13に記載の非一時的マシン可読記憶媒体。

【請求項16】

前記主要な音声コンテンツの前記データとの前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの前記データの同期は、前記主要な音声コンテンツのフィンガープリントデータとの前記少なくとも1つの基準音声コンテンツのフィンガープリントデータの比較に基づいている、請求項13に記載の非一時的マシン可読記憶媒体。

【請求項17】

前記少なくとも1つの基準音声コンテンツは、少なくとも2つの基準音声コンテンツを含み、前記少なくとも2つの基準音声コンテンツの各々の1つは、異なる動画コンテンツと関連して記憶され、識別された前記動画コンテンツは、前記異なる動画コンテンツの各々の一部を含む、請求項13に記載の非一時的マシン可読記憶媒体。

【請求項18】

前記比較は、前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの第2の音声特性との前記主要な音声コンテンツの第1の音声特性の比較を含み、前記第1の音声特性及び第2の音声特性は、和音、リズム特徴、及び楽器の開始から構成されたグループから選択される、請求項1に記載のコンピュータにより実行される方法。

【請求項19】

前記比較は、前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの第2の音声特性との前記主要な音声コンテンツの第1の音声特性の比較を含み、前記第1の音声特性及び前記第2の音声特性は、和音、リズム特徴、及び楽器の開始から構成されたグループから選択される、請求項7に記載のシステム。

【請求項20】

前記比較は、前記少なくとも1つの基準音声コンテンツの第2の音声特性との前記主要な音声コンテンツの第1の音声特性の比較を含み、前記第1の音声特性及び前記第2の音声特性は、和音、リズム特徴、及び楽器の開始から構成されたグループから選択される、請求項13に記載の非一時的マシン可読記憶媒体。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 2 2

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 2 】

いくつかの例としての実施形態では、基準判定モジュール 1 1 2 は、主要な音声コンテンツ 2 1 0 及び基準音声コンテンツ 2 2 0 のそのような音声特性の和音、リズム特徴、及び楽器の開始など、音声特性の間の一致を、予め定められた閾値として使用するよう構成される。例えば、基準判定モジュール 1 1 2 は、複数の基準音声コンテンツ 2 2 0 を検索してもよく、2つの異なる歌のリズム特徴の間の高レベルの類似の判定に基づいて2つの異なる歌を一致させることなど、異なる音声記録の音声特性の間の特定のレベルの類似に単純に基づいて、1つの音声記録を別の音声記録と一致させてもよい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 3

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 3 】

いくつかの例としての実施形態では、提示モジュール 1 1 6 は、和音、リズム特徴、及び楽器の開始など、主要な音声コンテンツ 2 1 0 の音声セグメント 3 1 0 の音声特性と基準音声コンテンツ 2 2 0 の音声セグメント 3 2 0 のそのような音声特性との間の一致を使用して、主要な音声コンテンツ 2 1 0 の音声セグメント 3 1 0 を基準音声コンテンツ 2 2 0 の音声セグメント 3 2 0 と同期するように構成される。例えば、提示モジュール 1 1 6 は、2つの異なる歌のリズム特徴の間の高レベルの類似の判定に基づいて2つの異なる歌を同期することなど、異なる音声記録の音声特性の間の特定のレベルの類似に基づいて、主要な音声コンテンツ 2 1 0 の音声セグメント 3 1 0 を基準音声コンテンツ 2 2 0 の音声セグメント 3 2 0 と同期してもよい。